

こしか—こしき

世漢学者著述目録大成による  
御詩會記 一冊 ④漢詩 ⑤茶園成實  
古史會記 一冊 ④注釈 ⑤京大  
\* 日本紀・旧事本記付古事記聞・古事記略を  
收む  
古史概覽 一冊 ④史論 ⑤浦池九淵  
\* 近世漢学者著述目録大成による  
古史會話集 ④雜記 ⑤京大(自業軒  
物語と合一冊)  
故事書抜 一冊 ④雜記 ⑤可山禪悅  
京大  
故事家訓 一冊 ④教訓 ⑤彰考 \* 粟  
屋家秘記  
こしかけ 一冊 ④俳諧 ⑤水谷編 ⑥明和  
四自序 ④天理錦屋  
腰掛茶屋用達諸願 ④水谷編 一冊 ④記  
録 ⑤国会旧稿 \* 嘉永二(慶応二)  
越重五等数 一冊 ④和算 ⑤学士院  
越賢氏先祖寛書 一冊 ④記録 ⑤  
神宮(文久三御巫清生写)  
古志荷多双帯 一冊 ④俳諧 ⑤煤俣  
⑥愛知女大石 ⑥愛知女大  
腰刀考証 二冊 ④刀剣 ⑤福井久藏  
(飯島本)  
腰刀図 一軸 ④刀剣 ⑤伊勢貞丈 ⑤  
宮書 \* 飯塚正宗拵・豆州箱根権現在之會我五  
郎時宗刀拵  
\* 腰刀図 ④刀剣 ⑤宮書(上巻、一軸)(江戸  
時代写一軸)(二軸)  
\* 腰刀燧臺図記 一冊 ④武家故実  
⑤中盛彬 ⑤東大 神宮 ⑥随筆文学選集二二  
腰刀問答 一冊 ④刀剣 ⑤伊勢貞丈  
⑥宮書(腰剣問答)・江戸時代写)・東博(江戸  
末期写)・教大・大阪府(鏡鞍記等と合)  
こしかた物語 一冊 ④雜記 ⑤山田  
近房 ⑥享保一九 ⑥米沢林泉  
古事合璧集 三巻三冊 ④雜記 ⑥寛  
文一三刊 ⑥京大  
護持ヶ原実説仇計井上伝記 ④寛文三  
〇冊 ⑥実録 ⑤愛媛伊予史  
越谷行脚 一冊 ④紀行 ⑥国会  
故事函 ④四冊 ⑤桜山

五字観 一冊 ④佛敎 ⑤東大寺(江戸時  
代写)  
互市奸關論 ④貿易 ⑤日本経済大典  
四六交易論  
五字観略秘録 一帖 ④佛敎 \* 昭和  
法宝目録高山寺法政台聖教目録による  
護持寺勸例 ④護持僧勸例  
古式 二〇巻 ④法制 \* 本朝書籍目録・  
本朝法家文書目録による  
古事記 三巻三冊 ④通史 ⑤大安万侶  
編 ⑥和銅五 ⑥国会(真福寺藏本写)・内閣秘  
閣本、慶長一九写(徳川光圀献上本、元禄四  
写)(古事記正文)、合一冊(三冊)抄、撰津  
微 〇四・静嘉(心永三)道祥写、上巻一冊  
(下部兼永興書本)伊勢本、上巻一冊(二部)  
(吉永本、上巻一冊)(寛永一五写本写)(山田  
以文旧藏本)(古写、三冊)・東洋岩崎(江戸初期  
写)(道祥本写、木村正辞書人本、上巻一冊)・  
宮書(中原職忠写)文政二(真福寺藏本写)(嘉  
永七写一冊)(明治写)(三冊)・辛宮院(道祥本  
写、上巻一冊)(三冊)・京大(堀本)(舟橋家本  
(中津広尾手校本、三巻一冊)(真福寺藏本写)  
(道祥本写、上巻一冊)(神宮石川本写)(神宮  
村井本写)・教大(校本古事記)・洞院尚賢書入  
本、上巻二冊(道祥本写、上巻一冊)(三冊)  
・国学院(室町末期写)江戸後期写、書入本  
(真福寺藏本写)・東大(古写本古事記)(三  
冊)(上巻一冊)・東北大(上巻一冊)・東北大狩  
野(道祥本写、上巻一冊)・春嶽本写、上巻一  
冊)・葵(山梨稲川写一冊)・福井松平・岩園上  
巻一冊)・猪熊・彰考(徳川光圀校訂本)・神宮  
(心永三)春嶽写、上巻一冊(石川本)・村井  
本)・真福寺(上中巻心永四)下巻同五賢院写  
・国定・鈴鹿(室町時代下部兼永写)・尊經大  
永二写本慶長二二(中臣祐範写)下部本、吉田  
正順写)・多和(江戸初期写)・天理(永徳元道  
果写、上巻一冊)(神楽岡本、江戸初期写)・萩  
原兼従本、江戸初期写(九条家本、江戸初期  
写)(八雲軒本、江戸初期写)(下部兼永興書  
本、江戸初期写)(天明四長山助実写)(道祥本  
神谷永平写、上巻一冊)(古事記上巻抄)・鎌  
倉末期写一軸(三冊)・徳久廻・無窮神書(真福

寺藏本写)(道祥本写、鈴各機前自筆校本、上  
巻一冊)春嶽本写、上巻一冊(中臣祐範写本  
写三巻一冊)(吉永本写、上巻一冊)(同上、玉  
籠一七九)(三巻一冊)陽明(考訂古事記)  
(三冊)・竜門(寛永一五写)(寛永頃写、平瀬家  
旧藏本)(江戸初期写)江戸末期写)田中順  
(下冷泉家本)(下部兼永興書本、三巻一冊)  
⑥寛永二(覆刻版を含む)①国会・静嘉  
・東洋岩崎(木村正辞書人本)(三冊)・宮書・大阪  
市大香川大神原九大・京大・慶大・国学院  
院早大・東大・日大・大阪府岩園・金沢市院  
堂・高野・鶴舞・米沢興讓井本(一冊欠)・高野  
山宝城院・神宮・鈴鹿・多和(賀茂真淵書入本  
(三冊)・茶園成實・竹柏・天理(校正本)(三冊)  
・天理古義堂(伊藤東涯書入本、三巻一冊)無  
窮神書(尾代弘賢賀茂真淵說書人本、中巻写  
本)(内山真竜校本)(谷森善臣校本)(校本、三  
冊)・陽明・竜門(荷田春滿訓)鈴木梁塵說自筆  
書人本)・旧三井本居・延岡内藤家、貞享四版  
(龍頭古事記)・度会延佳校)①国会・内閣・静  
嘉・山田(以文校正本)(校正本二部)・東洋岩崎  
(藤原昌保書入本)(三冊)・宮書・大阪市大福田  
・森岡大・京大(訓点校本)(校正書入本)(三  
冊)・京大谷村・慶大(大所道)国学院・早大・東  
大・東大史料・東北大狩野・日大・広島大・北大  
・大阪府・京都府・高知・山口・鶴舞・豊橋・桜山  
・彰考・神宮・鈴鹿・竜野・多和(加藤宇万伎書入  
本)・天理(村田春海書入本)(三冊)・羽中山(徳  
久廻)丸山・三手・無窮神書(書入本)  
(三冊)・大西源一・山下宗太郎、元禄七版(古  
事記校本)・度会延佳校)①鶴舞・成田、享和  
三版)①国会・宮書(谷森善臣手校本)(三冊)・  
幸校)①訂正古訓古事記、本居宣長訓・長瀬真  
・国学院(書入本)(三冊)・早大・東大・日大・阪  
大・市大・関学・関大・九大・京大・教大  
大・名大岡屋・葵・大阪府・岐阜・京都府・日比谷  
東京・福井松平・宮城・山口・岩園・岡崎・金沢市  
藤本・能谷・遠左・果園・栗田・金刀比羅・彰考・  
神宮・竜野・多和・竹柏(小山田与清書入本)(三  
冊)・茶園竹柏(神田息胤校合本)(木村正辞書  
入本)(三冊)・天理・徳久廻・無窮神書・祐徳米  
本・旧三井書庫本居・延岡内藤家、文化元版

①新刻古事記、本居宣長訓)①神宮(上巻欠)  
・茶園成實(加藤千陸手記本)・祐徳、旧三井本  
居、慶長三版(新刻古事記正文)、佐々木守信  
校)①内閣・宮書・国学院・宮城小西・養賢堂・多  
和・成田・仙台伊達家、刊年不明)①国会・宮書  
京大・京大・諸家校正書入本)・早大・広島大・  
岩手(長瀬將在書入本)・刈谷・米沢興讓・高野  
山持明院・鈴鹿・尊經・多和  
⑥岩波文庫・角川文庫・校註日本文学叢書七  
・校註日本文学大系一・国民古典全書・国民思  
想叢書(休刊)・新註皇學叢書一・新訂増補国  
史大系・増補本居宣長全集一〇(訂正古訓古事  
記)・日本国粹全書七・日本古典全集二期・日  
本古典全書・日本古典文学大系、日本全書一  
・有朋堂文庫・校異集成標註古事記(田井嘉藤  
次、昭和七)・校註古事記(次田潤、昭和元)・  
校定古事記(本居宣長)・井上頼園・上田万年、  
明治四四)・校訂古事記(田中頼庸、明治二〇)  
・古訓古事記(三國幽眠、明治八)・古事記(藤  
村作、昭和四)・古事記大成本文索引篇一・古  
事記普及本(井上頼園三、昭和元)・新訂要註古  
事記(武田祐吉、昭和八)・訂正増補三井古事  
記(渡川玄耳、明治四四)・標註今古文事記(池  
田常太郎、明治四四)・要鑑古事記(村井幸章、  
昭和六・七)・古典研究昭和一一の〇別冊付録  
・諸本集成古事記(古事記学会、昭和三一)・三  
三)・勸貴重圖書複製會(道果本)・古典保存会  
一期(真福寺本)・古典保存会二期(春嶽本)・古  
典保存会三期(道祥本)・古典保存会六期(猪熊  
本)・尊經閣叢刊(中臣祐範本)・古事記(真福寺  
本)・京都印書館、昭和二〇)・訂正古訓古事記  
(松雲堂、昭和四) \* 明治版あり  
古事記 一冊 ④注釈 ⑤中臣祐用? ⑤春  
日大社 ⑥古事記聞書(中臣祐述)古事記聞  
書)の付、渡辺国雄、昭和三八)  
古事記 ④講古事記(外) ④注釈 ⑤宮城小  
西(上巻のみ一冊)  
古事記上巻 一冊 ④注釈 ⑤鶴家成申 ⑤  
東北大(鶴家成申草稿一)  
五色 一冊 ④真言 ⑥道範 ⑤高野大  
寺(承応三写)  
五字義 一冊 ④真言 ⑤宝菩提院(平安

こさん

- 集覽25  
 五山堂詩話 ㊟ 日本詩話叢書 9 10  
 後三年合戦絵 (奥州後三年記) ㊟ 日本絵巻大成 15 (翻刻とも) 合戦絵巻(翻刻とも、昭52、角川書店) ㊟ 群書類従20 新校群書類従16  
 御産部類記 ㊟ 図書寮叢刊  
 古四王神社考 ㊟ 新秋田叢書 3  
 古事記 ㊟ 貴重図書複製会叢書 (上巻、道果本) ㊟ 古典資料類従36 (卜部兼永筆本) ㊟ 尊経閣叢刊(中臣祐範本) 復刻日本古典文学館(上巻、春楡本) ㊟ 勉誠社文庫(訂正古訓古事記) 古事記(真福寺本、昭20、京都印書館) 訂正古訓古事記(昭46、53、新典社) 古事記(真福寺本、昭49、講談社) ㊟ 国宝真福寺本古事記(昭52、桜楓社) ㊟ いてふ本刊行会 岩波文庫 角川文庫  
 賀茂真淵全集26 講談社学術文庫 新潮  
 日本古典集成 新訂増補国史大系 日本古典全書 日本古典文学全集 日本古典文学大系 日本思想大系1 本居宣長全集8 校註古事記(昭25、明治書院) 古事記大成本文篇(昭32、平凡社) 校本古事記(真福寺本、昭40、統群書類従完成会) 標注訓説古事記(昭40、吉川弘文館) 古事記全講(真福寺本、昭41、加藤中道館) 古事記(真福寺本、昭48、桜楓社) 古事記全註釈(昭48-56、三省堂) 古事記注釈(昭50、51、平凡社) ㊟ 諸本集成古事記(昭32-33、古事記学会)  
 古事記叢書 ㊟ 神道叢書2  
 古事記聞書 ㊟ 古事記聞書(翻刻とも、昭38、古事記学会)  
 古事記雑考 ㊟ 本居宣長全集14  
 古事記述言 ㊟ 名古屋叢書1  
 古事記詳説 ㊟ 田安宗武3 (昭20、日本評論社)  
 五色墨 ㊟ 定本柳田国男集17(紅梅にの巻) 俳諧評釈(紅梅にの巻、昭22、民友社) 中央大学国文23(薺やの巻、昭55・3) 近世文芸研究と評論19(紅梅にの巻、昭55・11)  
 五色墨(冠附五色墨) ㊟ 未刊雜俳資料19 古事記註釋書 ㊟ 未刊国文古註釈大系12 古事記伝 ㊟ 古事記伝(昭55、清栄社) ㊟ 岩波文庫(巻一-十七) 本居宣長全集9  
 12  
 乞兒奇伝 ㊟ 野田教授退官記念日本文学新見(昭51、笠間書院)  
 古事記伝追継考附録 ㊟ 古事記伝追継考附録(昭36)  
 古事記頌題歌集 ㊟ 本居宣長全集別巻2  
 小式部(和泉式部の物語) ㊟ 和泉式部全集資料篇 ㊟ 和泉式部全集本文篇 室町時代物語大成25  
 小式部 ㊟ 和泉式部全集本文篇 岩波文庫 統  
 お伽草子  
 乞食袋 ㊟ 人見蕉雨集3  
 乞食袋 ㊟ 諏訪史料叢書9 河合曾良追善集集録(昭34、信濃民友社)  
 古事記謡歌註 ㊟ 日本歌謡集成1 未刊国文古註釈大系12  
 腰越 ㊟ 天理図書館善本叢書48 幸若舞曲三十六種下(昭48、汲古書院) 毛利家本舞の本(昭55、角川書店) ㊟ 幸若舞曲研究2 幸若舞曲集本文 古典文庫舞の本下 新群書類従8  
 腰越状(義経腰越状) ㊟ 日本教科書大系4 越路紀行 ㊟ 日本紀行文集成3

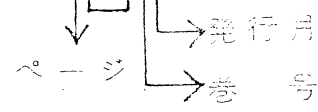
平成14年

● 国文学年鑑 (910.3K)

国語国文学研究文献目録 → 国文学研究文献目録 ← 昭52-

近世文学

『西鶴諸国はなし』の挿絵「風俗画、怪異・説話画」と「戯曲」との関係を中心に	宮沢 照恵	国語国文研究	11	二三	14
『西鶴諸国はなし』巻五の「一灯挑に朝顔」再考―本道伝書との関係を中心に	石塚 修	文芸言語研究 (文芸)	10	三三	14
「例の狂言」考―西鶴名残の友の事実と咄	長谷あゆす	近世文芸	7	共	16
『諸艶大鑑』論―自己回復としての「艶の恋」と世の慰草について	矢野 公和	東京女子大学 日本文学	3	七	16
特集 井原西鶴『独吟 一日千句』の構成とところ	前田 亜弥	江古田文学	11	三二	10
『日本永代蔵』成立論の諸問題 (上)―やま長すぎる前口上	谷脇 理史	近世文芸研究と評論	11	三三	17
『武道伝来記』大蛇も世に有人が見た様―小考	大久保順子	文芸と思想	2	六	10
『武道伝来記』論 その五	佐々木昭夫	東京家政学院 女子大学紀要	3	六	14
『懐鏡』研究史ノート(2)―伴山の理解と作品論の展開	有働 裕	愛知教育大学 学術報告 (人文・社会)	3	五	9
『懐鏡』研究史ノート(3)―近年の「懐鏡」論と今後の課題	有働 裕	国語国文学報	3	五	14
『万の文反古』巻五の四「桜よし野山難義の冬」についての一考察―鏡の世の中をキーワードとして	岡田 純枝	二松学舎大学 学人文論叢	10	六	16
『万の文反古』のA系列	篠原 進	青山語文	3	三	17
上田秋成文学の意義について―八作品を中心に	森田 喜郎	文学研究 (日本文学)	4	六	8
特集・今に生きる本居宣長―その思想と文学上田秋成―河刈腹に見る近世最大の論争	日野 龍夫	解釈と鑑賞	9	六	6
異類化表現からみる『雨月物語』の主題	磯合 真弓	日本文芸学	2	三	16
『雨月物語』研究―まことの特質	磯合 真弓	広島女学院大学 学文化論叢	3	五	19
『雨月物語』の魅力―中国白話小説との比較も交えて	黒川 聡子	筑紫語文	11	二	11
怪異の淵源―『雨月物語』における(性)と規範の相剋	後藤 裕介	岩大語文	12	九	8
『雨月物語』論―「青頭巾」をめぐって	田中 憲二	野州国文学	3	九	11
『菊花の約』における左門の孝	中村 正市	尚綱大学 研究紀要	2	五	10
『菊花の約』と『陰徳太平記』	小山 一成	立正大学 国語国文学	3	三	8
『雨月物語』に於ける善悪忠報譚―吉備津の釜と牡丹燈籠	崔 香蘭	東アジア日本語教育・日本文化研究	3	四	12
妬婦の怨念―「吉備津の釜」の優良の場合から	太刀川 清	学海	3	一	5
典拠と批評―「蛇性の淫」と中上健次	嶋田 彩司	国文学研究	3	三	10
『貧福論』の考察―経済社会と徳	日暮 聖	法政大学 学術紀要	3	三	43
那かひの重き業障―「夢応の鯉魚」論	三浦 一朗	日本文芸論叢	3	二	10
秋成と天覧―神代がたり『談義』	飯倉 洋一	待兼山論叢 (文芸)	12	三	19
『談義冊子』における老いの表現―『談書』を中心に	正本 綾子	鯉城往来	13	五	14
秋成「海賊」論―文化五年本「春雨物語」と「驛り」の意識	小椋 嶺一	国文学論叢	3	三	15
特集・近世和歌と古典学瑞龍山下の老隠戯書―『春雨物語』と和歌	木越 治	江戸文学	11	三	22



● 国語年鑑 2003年版 (810.5K)

第2部 文 献 雑誌文献一覧 (R864~881)

- (近畿地方の方言)
- 864 近畿西部方言におけるナ行音文末詞 その生態と特性 (神部宏泰)  
ノートルダム清心女子大学紀要 日本語・日本文学編 26-1 2002-3 p.1-16
- 865 フネガからフネガへ 京阪式名詞アクセントの見方 (尾形佳助)  
文林(神戸松蔭女子学院大学) 36 2002-3 p.1-79
- 866 特集; 言語の対人関係機能と敬語——西日本言語域における畿内型待遇表現法の特  
質 (中井精一) 社会言語科学 5-1 2002-10 p.42-55
- 867 方言としての“まったり”の客観化 京都地方のアンケート調査および聞き取り調査  
(早川文代; 馬場康維) 日本家政学会誌 53-5 2002-5 p.447-456
- 868 特集; 夏のことば——京都の暑さのことばとあいさつ表現 (中井幸比古)  
日本語学(明治書院) 21-10 2002-8 p.44-54
- 869 特集; 言語の対人関係機能と敬語——京都市方言女性話者の談話におけるハル敬語  
の通事的考察 第三者待遇表現に注目して (辻加代子)  
社会言語科学 5-1 2002-10 p.28-41
- 870 電子化言語地図の現状と問題点 『大阪府言語地図』の作製を通して (鳥谷善史)  
大阪樟蔭女子大学日本語研究センター報告 10 2002-3 p.67-80
- 871 方言記述 大阪方言における断定辞ヤの文末詞的用法について (高木千恵)  
阪大社会言語学研究ノート 4 2002-3 p.143-152
- 872 兵庫・岡山県境地帯のアクセント (中井幸比古)  
アジア・アフリカ文法研究 30 2002-3 p.45-61
- 873 JR神戸線沿線方言(姫路—大阪)の動態について 『JR神戸線沿線グロットグラム』を  
もとに (都染直也) 甲南大学紀要 文学編 123 2002-3 p.1-16
- (中国地方の方言)
- 874 広島県大竹市方言における疲労感を表す形容語彙 (花岡健吾) 国文学攷(広島大学) 175 2002-9 p.1-13
- 875 見島方言の用言のアクセント調査報告 (上野善道)  
東京大学言語学論集 21 2002-9 p.345-395
- (四国地方の方言)
- 876 予土線ワンマン列車の音声合成案内資料 (清水誠治)  
鉄道文学(三重大学) 22 2002-1 p.34-43
- 877 特集; いま言語地図を考える——ボーリング言語地図 グロットグラム(地域×年齢)  
分布図 (高橋顕志) 日本語学(明治書院) 21-11 2002-9 p.48-59
- 878 特集; 冬のことば——四国地方のお正月のことば (岸江信介)  
日本語学(明治書院) 21-1 2002-1 p.30-39
- 879 徳島・吉野川流域におけるアクセントの現在 (真田信治; 武田佳子; 余健)  
阪大日本語研究 14 2002-3 p.61-106
- 880 アクセント型の許容からみる伊吹島アクセントの3式 伊吹島と観音寺の中学生の比  
較 (佐藤栄作) 早稲田日本語研究 10 2002-3 p.11-22
- 881 愛媛県内子町の談話アクセント (山口幸洋)  
地域言語(天理・地域言語研究会) 14 2002-10 p.39-56

卷号  
発行

検索語

題名=テレビドラマ, 女性語, / 検索条件=or

000001 女性語の系譜

真下三郎/広島大学文学部紀要 26-3/4号-1

000002 日本語における女性語の成立とその背景の考察

白木進/梅光女学院大学 国文学研究/8号-4

000003 女性語の一考察—近松の世話物浄瑠璃における終助詞・間投助詞の用法—

江口友理子/国文 38/9号-3

000004 「源氏物語」会話文における男性語と女性語

石橋真理/成蹊国文 8/11号-4

000005 東京下町女性語管見—その地域性の観点から—

横田貢/東京成徳短期大学紀要 8/12号-1

000006 続東京下町女性語管見 その変化の様相

横田貢/東京成徳短期大学紀要 10/14号-1

000007 太宰治の作品の女性語についての一考察

嵐田利美子/日本文学ノート 12/14号-1

000008 女性語—その特徴と社会言語学的考察

日尾康子/四国学院大学論叢 61/22号-1

000009 現代女性語の研究 字音語を中心に

池辺雅代/国語国文研究と教育 17/23号-1

000010 女性語について 江戸語を中心として

筒井嘉寿恵/語学と文学 16/23号-2

000011 「独話」における女性語の使用・非使用をめぐって

徳井厚子/信州大学教養部紀要 人文科学 29 (95.2)/32号-4

000012 女性語の変遷

大石初太郎/文教大学国文 25 (96.3)/33号-4

000013 「お大根」のゆくえ 女性語且つ丁寧語をめぐって

飯田侑/横浜国大國語教育研究 4 (96.4)/33号-4

000014 現代女性語の変容について 3 邦訳「ジュリエット」における発話の言語形式の比較をもとに

日尾康子/四国学院大学論集 95 (97.12)/34号-5

000015 終助詞における男性語と女性語

中村純子/信州大学留学生センター紀要 1 (00.3)/38号-5

000016 「標準女性語」の概念形成過程 昭和初期から終戦まで

鷲留美/名古屋大学 ことばの科学 12 (99.12)/38号-5

000017 特集; 日本語文法研究の諸相 これからの日本語文法研究のために —日本語文法と感情の接点  
テレビドラマに会話分析を応用して

メイナード, 泉子K./日本語文法学会 日本語文法 1-1 (01.9)/38号-5/ (紹介のみ)

000018 テレビドラマの会話に見られる縮約形の調査・分析

中村フサ子・小泉美礼・樽田ミエ子/東海大学紀要 留学生教育センター 23 (03.3)/40号-5

000019 テレビドラマ「3年B組金八先生」に見られる自称詞・対称詞について —制作年別の差と先行研究との比較・分析より—

李銀美/日本大学大学院国文学専攻論集 1 (04.9)/41号-5

000020 日語「女性語」的中訳 —以漫画為例—

王敏東・邱心慈/近代東西言語文化接触研究会 或問 5 (03.1)/42号-3

000021 話し言葉の性差 {ジェンダー} —男性の「女性語」使用とジェンダーの関わりに注目して—

高崎みどり/明治大学人文科学研究紀要 54 (04.3)/42号-5

000022 テレビドラマにおける女性言葉とジェンダーフィルター —文末詞(終助詞)使用実態調査の中間報告より—

水本光美/日本語ジェンダー学会 日本語とジェンダー 5 (05.5)/43号-5

掲載紙 誌名 発行年 収録

日本語学論説資料

43号

2006年 (平成18年)

第5分冊 (コミュニケーション)

監修 国立国語研究所 発行 論説資料保存会

テレビドラマにおける女性言葉とジェンダーフィルター  
一文末詞(終助詞)使用実態調査の中間報告より

水本光美(北九州市立大学)

要約:「女言葉」や「男言葉」の存在が日本語の特徴の一つであるといわれる。しかし、最近の日本の若い世代の女性達が昔ほど「女言葉」を使わなくなっているというのも実感として感じる。本研究では、20代から40代の現代女性のカジュアルな場面での日常会話を収録し、20代から30代の女性達の話す文末における「女性文末詞」の使用は皆無に近いという結果を得た。しかし一方において、現在放映されているテレビドラマの中の若い女性達の話し言葉の調査から、テレビドラマでは、いまだに「女性文末詞」を頻繁に使用していることが観察された。本稿では、現実の若い女性達の使用言葉の調査および最新のテレビドラマの中で使用される若い女性達の言葉遣いの調査を通して、そのギャップの原因が脚本家の年代よりむしろ性別と意識に起因するジェンダーフィルターに存在する可能性があるということ进行分析する。

キーワード: 女性言葉、女性文末詞、現代の若者、使用実態調査、テレビドラマ、脚本、ジェンダーフィルター

はじめに

カジュアルな会話の中で通常使用されると言われてきた「女性言葉」や「男性言葉」(いわゆる「女言葉」や「男言葉」)がつくる日本語の男女差は、日本語を特徴づけるものの代表格として従来取り上げられてきた。実際に、日本語を外国語として教える日本語教科書や聴解問題などの会話にも、しばしばこの男女差は強調され、とりわけ男女の性差を明示的に弁別する文末詞はよく利用されている。我々が日々見聞きするテレビというメディアにおいても、ドラマや映画やコマーシャル等のなかに頻繁に使用されているのが認められる。

城西国際大学紀要 人文学部 一〇二〇(二〇一〇)	城西国際大学紀要 人文学部 一〇二〇(二〇一〇)	医学者のコミュニケーション能力に関する考察―医療患者を使ったトレーニングの事例をもとに―	海老田 大五朗	142
心理学詳論行会 心理学詳論 四八一(〇五八)	心理学詳論行会 心理学詳論 四八一(〇五八)	依頼・要請時に用いられる影響手段の種類と規定	今井 芳 昭	132
成城大学 成城コミュニケーション学研究 六(〇五三)	成城大学 成城コミュニケーション学研究 六(〇五三)	模擬医療面接にみられる相互作用	永瀬 治 郎	150
専修大学人文科学研究 人文科学年報 三六(〇六三)	専修大学人文科学研究 人文科学年報 三六(〇六三)	言葉の男女差―日本語の場合―	韓 振 綱	158
専修大学日本語学 専修国文 一九(〇六九)	専修大学日本語学 専修国文 一九(〇六九)	文末表現「テショウ」の確認の機能を持つ丁寧性	岡本 文 子	162
筑紫女学短期大学紀要 四〇(〇五二)	筑紫女学短期大学紀要 四〇(〇五二)	慣用色名に関する認識度と認識色の分析	大崎 正 昭	173
東京経済大学 コミュニケーション科学 二四(〇六二)	東京経済大学 コミュニケーション科学 二四(〇六二)	研究ノート―日韓異文化コミュニケーションの研究―	上 田 有 希 子	180
東京女子大学日本文学 一〇一(〇五三)	東京女子大学日本文学 一〇一(〇五三)	話しことばの位相―会話におけるフライヤーの研究―	三宅 和 子	191
東洋大学通信教育部 東洋 四一(〇五四)	東洋大学通信教育部 東洋 四一(〇五四)	学習室―日本語の世界を探察する(四)―話しことばと書きことば―	藤 部 千 枝 美	198
名古屋大学言語文化研究会 ことばの科学 一九(〇六二)	名古屋大学言語文化研究会 ことばの科学 一九(〇六二)	友人宛でのパソコンメールを「テグ」としたスピーチレールのコミュニケーション効果	藤 部 千 枝 美	206
名古屋大学言語文化研究会 ことばの科学 一九(〇六二)	名古屋大学言語文化研究会 ことばの科学 一九(〇六二)	「フイラー」形式に見る日本人母語話者の会話管理―日本語話し言葉コーパス(CSJ)の「対談」場面分析を通して―	井 上 春 彦	211
西日本言語学会 ニダバ 二五(〇六三)	西日本言語学会 ニダバ 二五(〇六三)	映画の会話に現われる男女ことばの調査と分析	日比谷 潤 子	216
二松学舎大学編集 四八(〇五三)	二松学舎大学編集 四八(〇五三)	異言語間の意思疎通の可能性について	日比谷 潤 子	226
日本大学国文学会 語文 二二五(〇六二)	日本大学国文学会 語文 二二五(〇六二)	年賀状に見られる年齢差	日比谷 潤 子	230
日本エドワード・サビア協会研究年報 一〇(九六三)	日本エドワード・サビア協会研究年報 一〇(九六三)	移住と言語差―日系一世カナダ人の事例―	日比谷 潤 子	236
日本音韻学会誌 六二(五)(〇六五)	日本音韻学会誌 六二(五)(〇六五)	音声聴取時の「フライヤー」働き―「エート」による後続句の複雑さ予測―	日比谷 潤 子	240
日本語ジェンダー学会 日本語とジェンダー 一五(〇五五)	日本語ジェンダー学会 日本語とジェンダー 一五(〇五五)	ジェンダーと「ライトネス」―女性は男性よりポライトなのか―	水本 光 美	246
日本語ジェンダー学会 日本語とジェンダー 一五(〇五五)	日本語ジェンダー学会 日本語とジェンダー 一五(〇五五)	テレビドラマにおける女性言葉とジェンダーフィルター―文末詞(終助詞)使用実態調査の中間報告より―	水本 光 美	246
日本社会心理学会 社会心理学研究 二二二(〇六二)	日本社会心理学会 社会心理学研究 二二二(〇六二)	人物の属性表現にみられる社会的ステレオタイプの影響	唐 沢 さやか	259
日本比較文化学会 比較文化研究 五一(〇一〇)	日本比較文化学会 比較文化研究 五一(〇一〇)	EMERGING NEW FORMS IN YOUNG STUDENTS CONVERSATION: A SOCIAL INTERACTIONIST APPROACH TO ANALYZING CONVERSATIONAL STYLES OF YOUNG STUDENTS	Yoshimura, Toshiko	261
日本比較文化学会 比較文化研究 五一(〇一〇)	日本比較文化学会 比較文化研究 五一(〇一〇)	Patience Strategies against FTAs in Japanese	Kawamoto, Yumi	271
日本語学マニフェスト 国際言語学論叢刊 三(七)(一〇)	日本語学マニフェスト 国際言語学論叢刊 三(七)(一〇)	人を動かすには「はが不快にする」か―日本語S行為指示型表現における politeness―	Tsuruta, Yoko	278

国文学年次別論文集 1980年版+ (朋文出版 1981-)  
 紀要・学会誌に掲載された、国文学に関する学術論文を収集・復刻した  
 もの。

00新編九二ページ

夏目漱石参考文献目録 II

山本勝正

「夏目漱石参考文献目録II」について

一、この目録は、平成二年十二月までに発行された夏目漱石特集の雑誌の目録である。目録作成にあたっての採録基準は、基本的には、従来の文献目録に従った。ただし、明らかに漱石についての論が掲載されていないものは省いた。また、漱石特集でないものでも、その大半が漱石についての論である場合は、採録した。

一、原則として、現在所蔵している文献を採録したが、一部所蔵していない文献もある。たとえ所蔵していない文献であっても、すべて確認できた文献の目録である。

一、猪野謙二解説・重松繁雄注釈「日本近代文学大系26 夏目漱石集III」(角川書店 昭和47年2月)の参考文献目録、「国文学」(学燈社)に、昭和46年9月から、平成元年4月まで、断片的に連載されている、越智信雄氏、大野洋一氏、縣坂敦子氏、石井和夫氏、石原千秋氏などによる、「漱石研究文献目録」をはじめ、様々な先行の文献目録を参照した。

一、より網羅的であることを心がけた。また、発行年月日まで記した。さらに、発行月と、発行月号が違ふ場合のみ、発行年月日の下に、発行月号を記した。特集名は、原則として、表紙の表記によった。表紙、目次、本文、奥付等で大き

国文学年次別論文集

近代2  
 平成3(1991)年

広島大学文学部図書  
 登録番号【133231】  
 910.5 K '91-12  
 93年 9月 8日  
 図書 金庫 蔵書

学術文献刊行会

著者	書名	発行年	発行月	発行月号
山本勝正	夏目漱石参考文献目録II	1991	9	9
猪野謙二	猪野謙二解説・重松繁雄注釈「日本近代文学大系26 夏目漱石集III」	1972	2	2
越智信雄	越智信雄「夏目漱石研究」	1971	9	9
大野洋一	大野洋一「夏目漱石研究」	1971	9	9
縣坂敦子	縣坂敦子「夏目漱石研究」	1971	9	9
石井和夫	石井和夫「夏目漱石研究」	1971	9	9
石原千秋	石原千秋「夏目漱石研究」	1971	9	9
藤村	藤村「夏目漱石研究」	1971	9	9
...	...	...	...	...

資料の入手方法 ー手順・フローチャートー

